

サザエの栽培漁業推進の取組

神奈川県水産技術センター 資源管理課

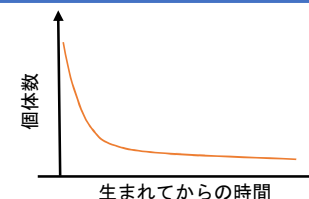
沿岸の岩礁域に生息し、海の幸として広く知られるサザエ。
神奈川県沿岸にも広く生息し、多くの漁業者が漁獲しています。

県水産技術センターでは、サザエ資源を増やし、絶やさずに獲り続けることができるよう栽培漁業を推進するための試験研究に取り組んでいます。

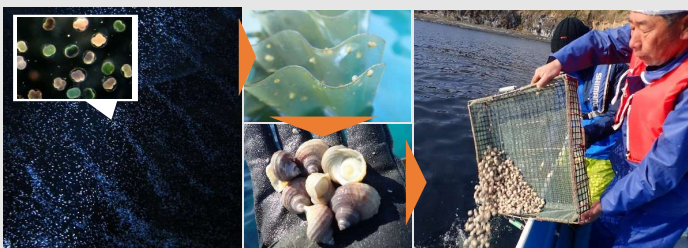


栽培漁業とは？

- 海の生き物は、卵～子どもの時の死亡率が特に高く、大きくなると生き残りが良くなります。
- 栽培漁業とは、魚や貝などの子供（＝種苗）を、生き残りが良くなる大きさになるまで人の手で育ててから海に放流し、資源と漁獲量の増大を図る漁業の取組です。



サザエの種苗生産～放流



- サザエは、8月頃に採卵し2～2.5cmに育ててから海に放流します。
- 水産技術センターでは安定的なサザエ種苗の生産技術を開発しました。

漁獲されたサザエの調査



- 放流したサザエは殻の頂点が白く天然個体と見分けることができます。
- 市場で水揚げされたサザエの大きさや放流個体の割合を調査し種苗放流の効果を検証しています。

海に放流したサザエの調査



- 潜水調査を行い、海に放流したサザエ種苗の成長を追跡しています。
- どのような場所で成長がよいか調べ放流適地を調査しています。